

三崎地区

三崎地区学校運営合同協議会事務局 みさき小 Tel 88-2019
令和8年3月24日発行 第12号 三崎中 Tel 88-2423

コミュニティ・スクールだより 第12号

～ ふるさとの未来を支える三崎っ子 ～

令和7年度 熟議開催 「道善さんから見た三崎町の魅力」

12月2日(火)、みさき小学校で熟議が開催されました。三崎駐在所の道善晴彦さんを講師にお迎えし、講演がおこなわれました。小学校5・6年生と中学生、教職員や三崎地区学校運営協議会の皆さんが参加しました。

道善さんは、能登半島地震発生前、三崎駐在所に7年間勤務され、三崎町の住民にも親しまれていました。その後他地域で勤務されていましたが、震災後はともに復興へ歩もうと再度の赴任を希望され、再赴任となりました。三崎を「第二の故郷」と慕う理由や、三崎の魅力など、他地域と比べながらお話していただき、改めて珠洲や三崎の良い所を感じることができました。



参加者のご意見・ご感想の一部を紹介します。

三崎の魅力をまあまあ知っていたけど、「やっぱりただの田舎だなあ。」と思った時が何回もありました。だけど、道善さんの話を聞くと心がとても温かくなりました。(小学生)

自分は、三崎の地域の人に挨拶をしたら地域の方は返してくれるけれど、挨拶を返してくれない地域もあるなんて、意外でした。みさきの魅力を教えてくれてありがとうごさいました。三崎のことがさらに好きになりました。(小学生)

珠洲は海も空気もきれいと知りました。私は、やっぱり珠洲は海や自然がきれいだと思っていたけれど、道善さんの話を聞いてもっと珠洲が好きになりました。(小学生)

震災後、珠洲の人口は減り、店の営業時間は短くなり、ネガティブなことばかり考えていましたが、身近なところで地域の魅力は感じられると知れた良い時間でした。食や環境、人などの魅力をこれからも大切にしていきたいです。(中学生)

この地域で生まれて育っていると、普段の食・環境が当たり前だと思っていましたが、道善さんがいろいろな場所にて三崎と比べたことを教えてもらって、自分では気づけなかったことを知れました。(中学生)

この地区で生活していくうちに「当たり前」になって見えなくなっている部分を思い出させてくれる熟議だったと思います。これからもこの魅力を大切に、守り受け継いでいけるように、地域交流を続けていこうと思いました。(中学生)

海や山が近くにあるありがたさ、地域(近所)の方のあたたかさ、外にばかり目を向けるのではなく、私もいいところを見つけていきたいです。(教職員)

色々な地域で働いたり暮らしたりしてきた方から、三崎町の魅力を聞くという経験は、児童生徒はもちろん、大人の方にもよい刺激になったのではないかと思います。(教職員)

「食・環境・人」のお話から「三崎愛」を感じました。これからの子どもたちにとって住みよい環境(自然)とみさきの魅力と伝統を、今の大人たちが守り続けていくことが大事だと思いました。(教職員)

第3回 三崎地区学校運営合同協議会 開催

2月24日(火) みさき小学校で、第3回三崎地区学校運営合同協議会が開催されました。最初に小中別協議会で学校評価についての報告と協議が行われました。

小学校では、メディア利用のルールを守ることにに関して課題となっており、保護者の思いを話し合う機会や他校での生活改善の成功例などを紹介してはどうかといった提案がありました。体力向上に関しては、県全体で取り組んでいる「スポチャレいしかわ」での取り組みを公表することで、競い合う効果も期待できるのではないかとというご意見もありました。また、地域行事の地引網体験がとても好評であり、地域で学ぶあらゆる場で地域の良さを感じられるような機会を今後も取り組んでいこうと共通理解しました。

また、中学校では、生徒・教師・保護者で評価の隔たりがあることが課題として挙げられました。また、「市長と保護者との意見交換会」が1月に行われましたが、中学校の統合に関して地域の方の意見を伝える場があるといい、ということが話題になりました。

貴重なご意見、ありがとうございました。

次に小中の委員が三部会に分かれて協議が行われました。

部会名	実践例・話し合われたこと
学習活動支援部会	○小中のつながりを活かした総合的な学習の時間のカリキュラムづくり ○地域の方や保護者の方にゲストティーチャーとしての参加
家庭地域生活支援部会	○加害者・被害者にならないようなメディアとの付き合い方 ○地域を巻き込んだスポーツ振興
特別活動支援部会	○仮設住宅の住民のみなさんとのかわり ○海岸清掃ボランティア



全体会では、いつ何をするか三部会を通しての全体の暦を作るとよいのではないかと、その暦が見えるようにすることで、区長会を通して地域の方の協力を広く募ることができるのではないかとという話がありました。

来年度も地域とともに三崎地区の子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。

〜〜児童・生徒・地域の交流活動〜〜

11/18 小中合同交流「モルック体験」



2/27小中合同交流「ミニ運動会」



11/19 ハピネス飯とさんによもん紙芝居(小学校)



12/11 小泊仮設住宅集会所訪問(中学校)



2/26 公民館でのお茶会(中学校)